



墨東の学び

学校通信④B小中卒業特別号
令和6年3月19日(火)発行
東京都立墨東特別支援学校
校長 田村 康二郎

祝：小学部卒業 & 中学部進学おめでとう！

義務教育のファーストステップである6年間の学業を修め終えて進学する小学部卒業生12名（肢体不自由教育部門の通学籍11名、かもめ分教室1名）名の皆さん、体力を養い健康を維持しながら、学習を積み上げ、この大きな節目を迎えられました。小学部卒業おめでとうございます！

中学生としての生活がすぐそこです！

祝：中学部卒業 & 高等部進学を祝します！

3年間の学業を修め終えた事で、義務教育の9年間を終える中学部卒業生20名（肢体不自由教育部門の本校通学籍18名、在宅訪問学級1名、かもめ分教室1名）の皆さん、卒業を祝します。そして高等部に出願され、見事入学を勝ち取った皆さん、まもなく始まる高等部生活に胸を高鳴らせている事でしょう。

正に“ You can do it!” 「あなたならできる！」

<報告> 祝：高等部卒業、社会へ飛び立つ！

3/15（金）高等部3年間の学びを心と頭と体に修め終えた肢体不自由教育部門卒業生13名（通学籍9名、在宅訪問学級2名、かもめ分教室2名）が、高等部卒業証書を手にして、新たなステージへと飛び立っていきました。前途は様々ですが、墨東卒業生であることを一生の誇りとして、各々の世界で存分に活躍してほしいと願います。卒業生たちが立ち上げた「同窓会カリヨン」では、母校等を会場に年数回の楽しい活動を行い、旧知の友や懐かしの先生方に再会する機会にもなっている事をお伝えしました。

かもめ分教室<小中高>卒業式 3/19 午後開催！

南砂町駅至近の都立東部療育センターは、24時間の医療的サポートを受けながら生活している肢体不自由児者の方が多数おいでです。学齢期の方には、憲法第26条に掲げられた義務教育を受ける権利「**すべて国民は～、ひとしく教育を受ける権利を有する**」を具体化するために、本校の教育拠点「かもめ分教室」が設置されています。

今年度は4名（小1名、中1名、高2名）の卒業生を対象に、小中高合同の分教室卒業式を3/19（火）午後に、センター内特設会場で開催します。

本校から校旗を運び込み、本校同様に会場を整え、校長は本校の式と同様に、モーニングの礼装で臨みます。院長先生をはじめ、センターの医療スタッフと保護者をお迎えしての式となります。尚、病院の感染拡大防止基準を踏まえた上での実施となります。

病弱教育部門の卒業状況と教育的な配慮

<本校の病弱教育部門> 築地駅至近の国立がん研究センター中央病院内設置の「いるか分教室」での教育と聖路加国際病院等の近隣7区内に所在する各病院からの要請に基づき本校教員が各病院を訪問して行う「つばさ病院訪問学級」での教育の2本立てです。

<今年度の状況> 今年度卒業生は0名です。

<卒業・進級者が少ない事情と教育的な配慮>

入院中の児童・生徒は、病気回復後には入院前の小・中学校や高等学校等の元の学校に復学する前提で治療を受けています。「復帰したいとの思い」も病気回復を支える原動力になるとドクターから伺っています。入院中に病院と相談しながら治療計画に反映させ、新学期からクラスメートと一緒にスタートできるように退院される方もいます。また、翌年度も入院治療を継続する方についても、その先の本格復帰時に安心して集団に溶け込めるようにとの配慮や卒業時に同窓の友と大事な節目を共有できるようにとの配慮などから、一旦本校を転出して復学先の学校へ転入します。年度初めも、その学校に在籍してから本校に戻りますので、年度中の在籍者数に比べて入学生・進級生・卒業生が少ない事にも繋がっています。

<復学支援も大切な業務> こうした事情も踏まえて病弱教育部門教職員は保護者・病院・復学先校との連携（例：復学支援会議への参画）などの円滑・安心の復学サポートも重要な業務となり、復学先の学校訪問も必要に応じて行っています。

本校を離れる教職員一覧を別途お知らせします！

都教育委員会は教員の異動情報（常勤教員に関する年度末で他校への異動）を3/19（火）又は3/20（祝）に都教委HP及び新聞紙面で公表の見込みです。

退職者・異動者とは別に任期満了に伴う離任者もいますので、3/25（月）に本校の情報を一覧にしてお知らせする予定です。*卒業生には、さくら連絡網等で伝える予定です。

担任配置等指導体制一覧は初授業日に配布！

新年度の「新規採用教職員」「転入教職員」「任用開始教職員」等を含めた「令和6年度の担任配置等新指導体制一覧」は4月の初授業日に印刷物を配布予定です。

在宅訪問学級の担任配置については新年度当初に担当副校長より各御家庭にお電話でお知らせします。

校長 田村 康二郎